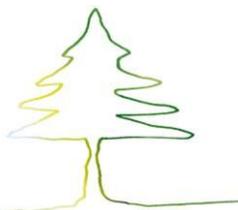


池下産業株式会社さま サステナビリティ経営への取組み



池下産業さまが設定した目標・KPIは順調に進捗しています。環境面では、MSC認証取得に向け、各種データの蓄積とトレーサビリティ体制の構築を進めています。また廃棄物についても引き続き社内でのリサイクル体制を維持し、インパクト創出を確認しています。社会面では、定年者の継続雇用や、計画通り外国人技能実習生の受け入れを行い、インパクトの創出を確認しています。経済・ガバナンス面では、養殖事業向け魚粉と、医薬品向け魚油の売上高が計画以上に成長し、インパクトの創出を確認しています。

今後は、コア・インパクトとして特定した「MSC認証」の取得により、持続可能な環境・社会と調和した経済活動による更なるポジティブインパクトの創出が期待されます。

株式会社北洋銀行

SDGs達成とインパクトへの取組み

環境

- コア・インパクトとして特定したMSC認証の取得に向け、漁獲した漁船や海域、魚体（サイズ・重さ）や製品の成分含有量など、様々なデータの蓄積とトレーサビリティ体制を構築しております。
- 製造過程で生じる食品残渣は、引き続き社内でのリサイクル製品の製造体制を維持し、受け入れた原料を100%社会に還元し循環型社会形成に貢献しております。



| インパクト | 取組内容 | KPI実績 | KPI目標 |
|--------------|--|---|---------------------|
| 持続可能な水産資源の調達 | 過剰漁獲の根絶など水産資源と環境に配慮し適切に管理された漁業を認証する「MSC認証」を取得し、持続可能な水産資源の実現に貢献する | 2025年12月までのMSC認証取得に向け、スケジュールを少し前倒ししながら進めている | 2025年12月までに取得し、維持する |
| 環境経営の実施 | 受入した廃棄物の全てを有機肥料の製造に繋げ、食品残渣の増加が見込まれる中でも100%再利用を継続していく | 廃棄物を出すことなく、自社内でのリサイクル製品の製造・販売の体制を維持している | 廃棄物を再利用するための体制の維持 |

社会

- 定年者などの再雇用を積極的に行ってきた他、2024年5期中には3名のベトナム人の技能実習生の受け入れを行いました。引き続き定年者の継続雇用や、外国人技能実習生の受け入れを行い、職場内のダイバーシティ促進と、水産加工の技能普及に貢献して参ります。



| インパクト | 取組内容 | KPI実績 | KPI目標 |
|------------|----------------------------|---------------------------------|---|
| ダイバーシティの促進 | 柔軟な労務環境の提供 | 定年者などの再雇用を積極的に行った | 再雇用制度（定年延長）、柔軟な勤務体制（傷病時等）を継続する |
| | 多様な人材の受け入れと水産加工などの技術普及への貢献 | 計画通り期中に3名の外国人（ベトナム人）の技能実習生を受け入れ | 2024年5月期から外国人技能実習生を毎年3名採用し、技術移転を通じた国際貢献を図っていく |

経済・ガバナンス

- コア・インパクトとして特定した養殖事業向け魚粉と、医薬品原料向け魚油の売上高は目標を超える水準となりました。来年度以降も引き続き、目標を超える実績を維持できるように努めて参ります。
- MSC認証を取得に向け、これまでアナログ管理であった各種データの管理をデジタル化し、管理体制の高度化を図りました。



| インパクト | 取組内容 | KPI実績 | KPI目標 |
|------------|-----------------------------|---------------------------------------|---|
| 安心・安全な食の提供 | 養殖業向け高品質飼料の安定供給 | 2024年5期決算で養殖事業向け売上高は約35%増加した | 2030年5月期までに養殖事業向け売上高を20%増加させる（基準年度：2023年5月期） |
| | 人々の健康価値向上に資する製品の提供 | 2024年5期決算で医薬品原料の売上高の割合は10%以上向上した | 2030年5月期までに総売上高に占める医薬品原料の売上高の割合を10%向上させる（基準年度：2023年5月期） |
| | 製造品質の維持・向上のためのデータ蓄積・分析体制の強化 | 手書きで管理していた漁獲・魚体・含有成分などの様々なデータをデジタル化した | 手入力等アナログ対応のものをITツール導入により順次デジタル化し、品質管理やデータ蓄積体制の維持・向上に繋げる |

